



インスピレーションになる

クラブテーマ

## Weekly Report

2018~2019年度 No. 15

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 創立：昭和56年3月4日  
 例会場：APL HOTEL 名古屋錦 中区錦三丁目15-30 (052) 953-5111  
 事務局：名古屋市中区錦三丁目15-30 APL HOTEL 名古屋錦560号室  
 (052) 961-2399 (直通) (052) 953-5111 FAX (052) 961-2391  
 E-mail: meihokrc@beach.ocn.ne.jp

会長：杉浦 定文 幹事：香田 研二 会報委員長：入江 由希子 題字：遠藤 友彦

### 未来に向かって

#### 本日の例会(第1800回) 10/17(水)

◆スピーカー 会員 西脇 良一

◆題名 「米山記念奨学会あれこれ」

#### 次回の例会(第1801回) 10/24(水)

《社会奉仕月間卓話》

◆卓話紹介会員 社会奉仕委員会 委員長 加藤 昌之君

◆スピーカー 名古屋市北図書館・楠図書館長 田中 敦司様

#### 第1799回例会記録 10/10(水)曇

◆司会 尾関 正一君

◆斉唱 RS・四つのテスト

◆ゲスト紹介 米山奨学生 ビラ マルフさん

◆来訪者紹介 半田南 RC 鈴木 宏司君

#### 出席報告

会員数	35名	前々回訂正	1797例会
欠席会員数	10名	欠席会員	3名中
出席会員数	25名	MAKE UP	1名
出席率	71.43%	出席率訂正	93.55%

#### 会長挨拶

会長 杉浦 定文



昨日、香田幹事と共に名古屋東ロータリークラブの60周年記念式典に参加してまい

りました。再来年には我がクラブの40周年式典が控えております。何らかの参考になれば、と思いよく観察してまいりました。

さて、美味しいものを食べると幸せな気分になれると思います。その時には脳の中で快樂物質「ドーパミン」が放出されています。最近の研究によると快樂の程度というのは

ドーパミンの量で表すことができるようです。食欲というのは生きる上での基本ですね。今回は最近名古屋で話題になっているミシュランのレストランガイドについてもお話ししたいと思います。ミシュランとはご存じタイヤメーカーですが、なぜその会社がレストランガイドを作っているかは118年前にさかのぼります。広まり始めたばかりのドライブ文化をより安全で楽しいものにするためにミシュランガイドが生まれました。最初は自動車修理工場、ホテルなど、ドライバーがドライブを楽しむためのガイドブックでした。1926年には評判の高い料理を提供するホテルに星をつけるシステムがスタートしました。そしてミシュランの社員である調査員が匿名でレストランやホテルを訪ねるようになったのもこの頃です。匿名調査で一番の目的は一般のお客様としてサービスを受けることです。つまりドライバーたちが快適に過ごせるような情報を提供する、ということが目的なのです。様々な変化をとげながら発展してきたミシュランガイドですが2007年11月ついにミシュランガイド東京2008を刊行しました。現在世界でも最も多くの星が輝く日本は世界最高峰の美食を誇る国となっています。またその星の意味するところとは、一ツ星 そのカテゴリーで特においしい料理、二ツ星 遠回りしてでも訪れる価値のある素晴らしい料理 三ツ星 そのために旅行する価値のある卓越した料理 です。日本では東京、北海道、関西、九州、そして北陸版が出版されておりますが、何故か名古屋が抜けておりました。しかし今年の初めごろから知り合いの飲食店の店主から「ミシュランの調査員が来たよ」という話をよく聞くようになりました。ちなみに私の情報では来年の3月ぐらいに出版されるとのことです。単なるレストランガイドですが、せっかく食事をするなら美味しいものを食べたい、という人間の欲の部分を見事についた本だと思います。美味しい物を食べるには

良い歯が必要です。そういうことを通じて私の仕事も社会に貢献しているのかなあと思いました。

## 幹事報告

1. 本日は今月の米山月間にちなみまして、米山奨学生 ビラ マルフさんに卓話をしていただきます。何卒よろしく願いいたします。

## 委員会報告

・「第6回ワールドフード+ふれ愛フェスタ」について  
(国際奉仕委員会 委員長 伊藤 晋一)

## 友の会報告

伊藤 晋一君

前期ゴルフ友の会取切戦で優勝!



加藤あつこ直前会長より会長賞が贈られました。

## 卓話

「日本とバングラデシュの外交関係」

米山奨学生 ビラ マルフさん



プロジェクトの実施を通じて、援助の中でも最も高い割合をバングラデシュに割いている。日本とバングラデシュの外交関係は、日本がバングラデシュを独立国家として承認した1972年2月10日に樹立された。そして1972年の早い時期に、両国は互いの首都に大使館を置いた。1972年にはじめて、早川崇が率いる日本の国会議員の一行がバングラデシュを訪れた。続いて、1973年にシェイク・ムシブルがバングラデシュの首相として日本をはじめて訪問した。それ以来、両国の関係はしっかりと順調に発展し、悪化することは決してなかった。それゆえ、日本とバングラデシュの二国間関係は、バングラデシュの外交政策における優先的なアジェンダの1つとなっている。

世界で3番目の経済大国として、日本は良い外交関係を

維持するため、近隣の発展途上国に直接的な財政支援を行っている。そのうちの1つがバングラデシュであり、日本は経済インフラ整備や貧困削減、人的資本開発の分野で財政支援をしている。バングラデシュの橋や道路の建設、地下鉄計画を含む日本が支援したインフラは、順調な経済成長を直接的に支えるものとなっている。日本はJICAを通じてバングラデシュ農村地域において多くの開発プロジェクトを行うことにより、貧困削減に大きく寄与してきた。日本はまた、人的資本開発においても支援をしてきた。今日、日本で訓練を受けた何百人と言うバングラデシュ人たちがバングラデシュをより良くするために働いている。彼らの多くは流暢な日本語を話し、バングラデシュの日系企業で働いて日本とバングラデシュの間の架け橋となっている。

日本は常にバングラデシュと友好的な関係を維持している。それゆえ、日本とバングラデシュの外交関係は、まさにその初めからとてもよい時間を過ごしている。将来的に、私たちは日本政府によるバングラデシュでの開発プロジェクトをよりいっそう必要とする。将来のプロジェクトとして優先されるべき分野には、健康管理、教育部門、科学と情報技術の開発が挙げられよう。最後に、ロータリー米山記念奨学会の学術者たちの一員として、私は、国際親善の発展に努め、国際理解を通じて平和を推進する才能ある若者を養成するという、貴会のミッションを実現するために最大の努力をしていきたい。

## ニコボックス

半田南RC 鈴木 宏司様

来月11月13日合同例会、よろしく申し上げます。

柴山 利彌君

梅村君、ホールインワンお目出度。

渡邊 泰彬君

14日第6回名古屋ジャズストリートを大曽根商店街で開催します。

梅村 美知容さん

ホノルルロータリークラブにメーキャップしてきました。

伊藤 晋一君

前年度、ゴルフ友の会取り切り戦で優勝しました。

【先週の職場見学会に参加された方、お疲れ様でした。本日は米山奨学生ビラマルフさんをお迎えしての例会です。よろしく願いいたします。】

杉浦 正文君 尾関 正一君 梶川 久雄君 平子 明資君  
近藤 朗君 岩田 満治君 西脇 良一君 星川 直志君  
梅村 篤君 尾関寛津成君 石黒 勉君 加藤あつこさん  
足立陽一郎君 木村 雅一君 阿部 美男君 入江由希子さん  
梅田 渉君 西脇 多吉君 伊藤 晋一君 吉村知紗さん  
香田 研二君 加藤 昌之君